

大好きなことを仕事にできた喜びをかみしめながら、 素敵な作品を作り続けます！

アトリエ 32 ^{みつ} 櫻井利江さん

2019 年度志太ビジネスプラングランプリで準グランプリを獲得。子どもの頃から宮大工にあこがれていたが、女性の仕事ではないと諦めていた。それでもできるところまで挑戦したいと、ドイツで木工技術を学び帰国。本当に大好きなことを仕事にしたい…その夢をかなえるために古い酒蔵の建物をそのまま活かした工房「アトリエ 32」をオープンした。



起業までのいきさつ

子どもの頃から木工に興味がありましたが、大工は女性の仕事ではないと諦め、全く違う分野に就職しました。社会人になって数年経つと、世間では男性の仕事と言われていた分野にどんどん女性が進出し始め、大工もその一つでした。一から修行を始めるには年齢的に難しかったので、家具ならば自分にもできるのではないかと考え挑戦を決めました。まずはポリテクセンターで大工仕事を学びました。やっぱり楽しい！と確信し、ドイツへ1年間の留学を決めました。日本びいきのドイツ人マイスターの元で修業し、機械を使わず工具だけで家具を組み立てていくという経験を積みました。帰国して就職した家具工場では、木工小物の製作担当者になりました。好きなことを仕事にできた喜びをかみしめていましたがリーマンショックで退職を余儀なくされ、もう家具には縁がないのだろうとあきらめ製薬会社に再就職しました。その会社で7年ほど働いたときに家具工場に勤める知人から、忙しいので週末だけ手伝ってほしいという依頼があり、木工の世界に再び足を踏み入れたのです。久しぶりにやってみると楽しくて楽しくて、自分は本当にこの仕事が好きなんだと再認識しました。またやりたいという気持ちが湧いてきて、2年間の修行の後、「始めるなら今しかない！」と思い立ち起業に踏み切りました。

起業する上で大変だったこと

創業資金については、自己資金で賄えるよう10年以上かけて蓄えました。起業に必要な情報を集めるために、起業セミナーも受けました。木工では騒音が出るので、住宅街では行えないことがネックでした。家賃との兼ね合いもあり場所探しは大変でしたが元々酒蔵だった建物を紹介してもらい、既存の立派な梁を見て一目で気に入って決めました。最も苦労し

たのが建物に動力を引くための電気工事で、依頼から完了までに数ヵ月を要しました。その数ヵ月の間にWEBで情報収集をしたり、先輩起業家でありエフドアを利用していた友人の勧めでエフドアに相談に行き、「ふじえだ女性ビジネスアカデミー」を紹介され受講することになりました。そこでビジネスプランを作成したことがとても良い方向に進みました。2020年には機械や電気設備を整え、「アトリエ32」としてスタートできました。

起業してよかったと感じるとき

実際に始めてみて、お客さんの要望を聞いて直接反応が見られることが嬉しいです。今はクチコミでお客さんが少しずつ増えて来ました。仕事としては最初から最後まで、自分でやりたいことができる喜びが一番大きいです。失敗しても失敗ではないこと、それを活かして成功に導けるという過程が楽しくて充実しています。日本の家具をドイツで売ってみたいという夢もあります。今はコロナの影響でできませんが、アトリエで木工教室なども開いていきたいです。



これからエフドアを利用する人に

自分一人では、起業にあたりどうやってプランを作ったらいかが全くわかりませんでした。エフドアでの相談や起業セミナーの講座でいろいろ学びながら、頭の中を整理してやるべきことを明確にしていきました。ビジネスプランコンテストに出たことも、審査員の反応などを見て、作ろうとしているものは悪くないのだと実感できました。



アトリエ 32

所在地：藤枝市鬼島 320-1 電話番号：080-3640-3724
インスタグラム：ateliermitsu
ブログ：blog.goo.ne.jp/atelier32

Information